

2018年 東洋交通労働組合 共済組合 旗開き・新年会

2018年 東洋交通労働組合 旗開き・新年会

共済組合 東洋交通共済組合



ける為に、益々
ブロ意識をしつ
かり持って営業
に努めて頂くよ
うお願い致しま
す。タクシース
品質とは、接客
だけでなく法令
を守り、安全・
安心輸送を大前
提にしていま
す。東洋は創立
以来、法令を遵
守することに誇
りを持っていま
す。規則は昔か
ら変わっていま
せん。身勝手な
解釈や、噂話に
振り回されない

今年には東洋交通創立65周年、日本交通グループに
加してからは13年目を迎えます。また、日交資本と
なつて11年が経過しました。2017年の半期決算で
は過去最高の売上だったと報告を受けています。勿論、
会社の営業努力もありますが、現場で働く乗務員の皆さ
んが品質向上に努め、機器の不具合に耐え、お客様への
対応で得た信頼が一番評価された賜物だと思えます。し
かしながら、東洋の品質は最高のものとは言えない現実
があります。事故・違反・処分事案の多さは二種免許を
持つプロドライバーとして恥ずべき所であります。お客
様に選ばれるタ
クシーで有り続
ける為に、益々
ブロ意識をしつ
かり持って営業
に努めて頂くよ
うお願い致しま
す。タクシース
品質とは、接客
だけでなく法令
を守り、安全・
安心輸送を大前
提にしていま
す。東洋は創立
以来、法令を遵
守することに誇
りを持っていま
す。規則は昔か
ら変わっていま
せん。身勝手な
解釈や、噂話に
振り回されない

品質を維持し

選ばれるタクシーへ!

菊池委員長の挨拶

2018年1月7日(日)12時、西台の王華にお
いて「2018年東洋交通労働組合・共済組合 旗開
き・新年会」が開催されました。
今年初の1日での開催となり、来賓を含め155
名の方々にご参会いただきました。

ようお願いします。法令を守るといふ事は自分達
の雇用を守るといふ事を忘れないで欲しいと思
います。

「白タク」を摘発し

我々の職場を守ろう!

年始4日より、全自交東京地連として「白タク
合法化反対」のチラシが入ったマスクを用意し、
お客様への配布に協力を頂き、ありがとうございます。
今年には昨年以上に社会へ向けて「白タク」
『ライドシェア』の危険性の周知に全力を注いで
いかなければなりません。『交通の安全と労働を
考える市民会議』と協力し合い、もつと国民に
知ってもらふ必要があります。皆さんのご家族は
もちろん、他産業で働く友人・知人の方にも、雇
用を破壊し、安全を蔑ろにする危険性を広めて
頂きたいと思ひます。

昨年、沖縄・関西・成田・羽田空港で中国式白
タクの検挙が行われました。運輸支局も、検挙に
繋がる情報提供を現場で働く乗務員に求めていま
すので、空港で同じ車を何度も見かけたり、繁華
街で配車をしている行為など、怪しいと思つたら
時間・場所・ナンバーを控え報告をあげて下さ
い。集約して支局へ届けたいと思ひます。並行し
て、日本には「ライドシェアはいらぬ」「タク
シーが一番」と思つて頂ける営業をお願いしま
す。

2018年、東洋交通労働組合は全自交労連の
旗のもと、これまで以上に『白タク合法化阻止』
に向けての運動を強化し、この仕事に誇りを持
ち、東洋交通に務めてよかつたと思つて頂けるよ
う、賃金・労働条件の改善を目指す運動を進めて
参りますので引き続きご理解、ご協力をお願いし
ます。

来賓の挨拶

来賓には、全自交労連の伊藤実委員長(日交労
委員長)、全自交東京地連の後藤修美副委員長
(羽田交通労組委員長)、ライオン交通労組の大

松啓治委員長、日交労赤羽支部の須藤利博支部
長、また、フットサル大会などで交流のあるJ
R東労組の吉川英一中央執行委員長、JR東労
組の宮内政典組織担当部長、前参議院議員であ
るJR総連の田城郁政治政策局長、(株)交通界
記者の石貝昭博氏、東洋交通からは仲進取締役
役、伊藤敏也次長、徳山正敏課長、大貫昌央課
長にお越し頂き、それぞれの立場からご挨拶を
頂きました。



伊藤委員長は「今年
のハイタクは昨年に続
いて白タク合法化阻止
が愁眉の課題となる」
として、「中国式白タ
クへの対策などでひさ

しを貸して母屋を乗っ取られるような事態は何
としてでも防がなければならぬ。夏から秋に
かけて規制改革推進会議が「タクシーと新たな
輸送サービス実現に向けて」のとりまとめを行
う。これが今年一番注目しなければならぬこ
とだ。政府はライドシェアに前のめりで、与野
党のタクシー議連の方々は反対の立場ではある
が、自民党の総裁選も絡み、「鶴の一声」で流
れが変わる恐れもあるのでしっかりと注視して
いきたい」とし、「昨年から取り組む『交通の
安全と労働を考える市民会議』と連携して取り
組みを強化していきたい」と述べました。



仲進取締役は「17
年の東洋の台当たり平
均營收は5万7000
円で、一昨年に比べて
1200円アップし
た。この数字は平成2

年のバブル期の平均5万6000円を上回る。
その原動力が皆さん一人ひとりの頑張りで」と
して改めて感謝の言葉を述べました。その上で
「お詫び」として無線機器の不具合について
「改善に向けて頑張っているの、いましばらく
我慢してほしい」などと理解を求めました。

(裏面に続く)



来賓の皆様も、組合員と交流して下さいました。ありがとうございました。



「事故を減らして収益を増やそう！」
 「お客様に選ばれるタクシー会社へ！」
 「品質向上に努めよう！」
 職員からそれぞれご挨拶を頂きました



「今年も1年良い年にしましょう！」 筒井副委員長の音頭で3本締めを行いました

全自交関東地連・東京地連旗開き

2018年1月18日、御茶ノ水の聚楽において関東地連・東京地連の旗開きが行われました。両地連の溝上泰央執行委員長は、白タク・ライドシェア合法化問題について「規制は悪、規制緩和は善との風潮があるが、競争には一定のルールが必要だ。そうではないと強者ばかりが利益を得る社会になってしまう」と述べました。さらに、昨年1月にスタートした初乗り距離短縮運賃について、「一定の成果が出ていると言われるが、これには現場の乗務員による営業方法の変更など、さまざまな努力がある。22日から相乗りタクシーの実証実験がスタート、変動運賃のダイナミックプライシングなども始まる。全ての事業活性化策に反対はしないが、労働者が犠牲となる活性化策には断固反対する」と強調しました。

労働者が犠牲の活性化策には断固反対する！

「交通の安全と労働を考える市民会議」 キャンパのお願い！ 「2018年 旗開き・新年会」

市民会議は、ライドシェアが導入された場合に、交通の安全と労働にどのような影響を及ぼすのかを調査・研究し、発信・提言していく組織として、弁護士・学者・知識人が行動しています。利用者の目線の安全性や外国の実態調査やライドシェアの危険性を発信しています。活動が手弁当に近い状況で行われています。

市民会議の活動は、タクシー労働者と経営の要求である「ライドシェア＝白タク合法化」の運動を、「国民の権利」と「労働の権利」の側面から支えてくれています。

「ライドシェア＝白タク合法化」を阻止し、「国民の安全な移動の権利」と「労働者の権利」を守る為にも運動を助け、利用者と社会に理解してもらう必要があります。市民会議の活動を支え、調査・研究・発進・運動を行う、資金カンパの協力をお願いします。

「2018年 旗開き・新年会」
 キャンパのご協力ありがとうございました！

東洋交通労働組合



¥34,364

今後も活動を強化するためのカンパを
 よろしくお願い致します！

第10回「交通の安全と労働を考える市民会議」

2018年1月18日、永田町の衆院第2議員会館で「市民会議」が開催され、今回は地方公共交通問題に詳しい名古屋大学の加藤博和教授を招き「公共交通空白地における交通手段とタクシー事業が果たすべき役割」と題する講演を聞いた後、意見交換をいたしました。加藤氏は「地域公共交通を地域の手で取り戻し、いきいきとしたものに変わっていく」と指摘し、住民の「必要なお出掛けが確保できる」、自治体の「豊かで魅力的な地域」、事業者の「存在意義があり、収益もできる事業運営」、そして運転者の「やりがいのある苦しくない仕事場」の実現が、「地域住民皆が安心して住み続け、利用しなくなる持続可能な公共交通をみんなで見守り育てることが大切だ」と強調しました。その上で「地域交通が何なのか理解できていない自治体関係者も多い。関係者は一度公共交通を体験し、議論して欲しい」と求めました。